

糖尿病性腎症に対する SGLT2 阻害薬による腎保護効果の検討

糖尿病性腎症は末期腎不全から透析療法に至る腎臓病の原因として最も多い病気です。これまで糖尿病性腎症の進行を抑制できる治療法は限られていましたが、近年糖尿病治療薬として用いることができるようになった SGLT2 阻害薬が腎症の進行を抑制できる可能性を示すデータが世界的な臨床研究で示されてきています。そこで、当院で SGLT2 阻害薬処方を受けられた患者様で SGLT2 阻害薬が腎機能に与える効果の検証を行う目的で観察研究を行いたいと考えております。2016 年から 2018 年の 3 年間の間に当院外来で SGLT2 阻害薬の新規処方を受けられた 2 型糖尿病を有する患者様を対象としまして、過去に通常診療の範囲内で行った検査結果を基に、腎機能を含めた臨床検査値に与える影響について統計学的な解析を行い、今後の診療に活かして参りたいと考えています。患者様に新たに追加の検査や治療などの御来院や何らかの御負担をお願いすることはありません。研究期間は承認日より 2022 年 12 月 31 日までの予定です。本研究は、診療によって得られたデータを使用するため研究費は生じません。本研究の利害関係の公正性については、熊本大学大学院生命科学研究部等医学系研究利益相反委員会の承認を得ております。今後も、当該研究経過を熊本大学大学院生命科学研究部長へ報告すること等により、利害関係の公正性を保ちます。

本研究により対象となった方に直接的な利益はございませんが、研究成果は将来、糖尿病性腎症のより良い治療法を見出すための一助となり、多くの患者様の治療に貢献できる可能性があると考えています。

個人情報漏洩を防ぐため、熊本大学病院腎臓内科では、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧できないようにしております。また、本研究の結果の公表(学会や論文等)の際には、患者様を特定できる情報は一切含まれません。対象となることをご希望されない方は下記の連絡先までご連絡下さい。

熊本大学病院腎臓内科

教授 向山 政志

講師 栞原 孝成

連絡先：

〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1 TEL：096-373-5164

担当：栞原 孝成